

第28号  
令和元年5月  
発行

# いきいき広域

隠岐広域連合広報誌



## 「隠岐航路振興協議会」の設置

隠岐広域連合では、平成30年12月に隠岐航路の在り方を考える「隠岐航路振興協議会」を設置しました。協議会は隠岐4町村と島根県、隠岐汽船（株）などで構成し、船舶の体制、運航ダイヤ、サービス向上などについて協議を進めています。

会議概要は隠岐広域連合ホームページで随時更新しています。

○主な内容○

- 平成31年度隠岐広域連合の取り組み
- 平成31年度予算の概要
- 隠岐広域連合の行政機構と職員配置
- 新規採用職員紹介
- 議会報告
- 隠岐病院 新院長就任のご挨拶
- 高規格救急自動車の寄贈

## 隠岐4町村総人口

	総人口	19,981人
	男	9,765人
	女	10,216人
	世帯数	10,186戸 (平成31年3月末現在)

発行：隠岐広域連合  
住所：島根県隠岐郡隠岐の島町都万2016  
TEL：08512-6-9150（代表）  
FAX：08512-6-3330  
ホームページ  
<http://www.okikouiki.jp>

「安全・安心の生活」確保  
「地域振興」の一層の充実をめざして

平成31年度の隠岐広域連合事業全般にわたる方針については、「隠岐広域連合第3次広域計画」に基づき、効率的かつ効果的で円滑な施設運営に努めます。

また、「第3次隠岐広域連合行財政改革大綱」に基づき、事務の効率化・簡素化を推進し、構成団体の負担金抑制に努めるとともに、島民の要請に充分に応えるべく、各事業や施設の在り方などについて、鋭意検討を進めていきます。  
各事業の取り組みは、次のとおりです。

隠岐航路事業

隠岐航路については、平成30年度に設置した「隠岐航路振興協議会」などにおいて、指定管理者である隠岐汽船株式会社との連携や協議をはじめ、関係機関と調整を図りながら、安全・安心は元より、高い就航率の維持、顧客サービスの向上に取り組みます。

また、特定有人国境離島措置法における航路運賃低廉化対策事業を推進し、島民の更なる利便性の向上、観光客の誘致をはじめとした観光産業の拡大に努めます。



レインボープラザ事業

指定管理施設であるレインボープラザについては、平成30年3月に大規模改修工事を終え、リニューアルオープンしたことから、上半期の宿泊人数は増加しています。



指定管理者である株式会社隠岐商事との連携や協議をはじめ、関係機関と調整を図りながら、島民に選ばれる魅力ある施設運営に取り組みます。

知的障がい者支援施設「仁万の里」事業

平成31年度は、老朽化した園芸作業小屋の建替え工事を行い、利用者の作業環境の改善に取り組みます。引き続き、隠岐圏域の障がい者福祉の中核施設としての機能・体制の維持、利用者へのより良いサービスの提供や保護者の思いを大切にし、より効率的かつ効果的な運営と施設づくりを指定管理者である社会福祉法人博愛と共に進めます。



介護保険事業

介護保険事業については、介護保険制度が平成12年4月に創設されて以降、介護保険サービス基盤の充

実とともに介護サービスの利用が急速に拡大し、介護が必要な高齢者の生活の支えとして定着しています。一方、今後の隠岐圏域の高齢者人口は2020年にピークを迎え、後期高齢者人口は緩やかに増加を続ける予測となっていますが、担い手となる生産年齢人口は減少することが見込まれるため、限られた社会資源の活用を創意工夫し、多様なサービス提供体制を構築することが必要となっています。

また、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの推進は喫緊の課題であり、「第7期介護保険事業計画」や「隠岐圏域地域包括ケアシステム推進委員会」の指針等に沿って介護保険事業を充実させなければなりません。

平成31年度は、隠岐4町村及び福祉事業所等と連携のもと、介護予防事業を積極的に推進し、要介護状態の軽減や重度化防止に取り組みます。

そして、大きな課題となっている担い手不足を乗り越えるため、地域による互助等によるサービスの拡大・充実の仕組みを隠岐圏域全体で検討します。また、人材確保・人材育成については、隠岐4町村や隠岐圏域の事業所の取り組みに加え、福祉人材養成学校との連携による各種研修の充実を図り、併せて効果の高いジョブフェアなどへの参加や地元中高



生へのアプローチ、情報発信の拡充などの取り組みを推進し、人材の確保に努めます。

また、介護給付の適正化に努め、保険料の収納については、全庁での取り組みを継続し、皆で支え合う介護保険制度の基本理念に沿って、より公平性を維持するために収納率の向上に努めます。

### 【病院事業】

病院事業については、「島根県地域医療構想」及び、病院ごとに策定した「新公立病院改革プラン」を基に、安全・安心の医療提供体制の確立に取り組みます。

また、医師・医療技術者等確保対策については、島根県は元より、大

学等との円滑な連携体制の維持充実に努める傍ら、隠岐郡出身関係者等との連携や情報収集を深め、独自の招聘対策を継続して取り組みます。

精神科医療提供体制については、平成29年7月の精神科医師の退職に伴い、島根県等へ協議、要望

活動等を行い、島根県、鳥取大学、松江赤十字病院、島根県立こころの医療センター及び松江青葉病院の支援のもと、非常勤医師の派遣をいただいています。

その中で、独自に精神科医師招聘に取り組み、隠岐圏域に特化した非常勤医師を招聘できる目処が立ち、平成31年4月より毎週4日間の勤務をいただける運びとなりました。



しかしながら、精神科医療提供体制は盤石とはいえないため、引き続き関係機関及び隠岐4町村と連携し、精神科医療提供体制の強化に向けた取り組みを進めます。

### 【隠岐島前病院事業】

平成31年度の診療体制については、常勤医師7名と非常勤医師による8診療科の維持に努め、後期研修医師3名の研修受け入れを実施することで、常勤医師の業務軽減を図ります。

医療スタッフについては、看護師3名を採用しましたが、今後も産休・育休や定年退職などが見込まれており、看護助手や調理員も不足している状況のため、引き続き全国に向けた情報発信や院内及び院外研修等による人材育成に取り組み、島前地域の中枢病院としての役割を果たしていきます。

### 【隠岐病院事業】

平成31年度の診療体制については、島根県、大学等の支援をいただき、16診療科の維持に努めます。医療スタッフについては、依然として確保困難な状況が続いており、平成29年度に組織化した「島の医療人育成センター」を含め、一丸となつて人材確保・人材育成に取り組みとともに、関係機関等の協力を仰ぎながら、医療提供体制の確保に努めます。

病院経営については、依然として厳しい経営状況の中、消費税引上げとなる予定であることから、更に経営環境が厳しくなるものと予想しており、平成31年度から経営改革コンサルタント委託業務を導入し、抜本的な経営改善に取り組みます。

医療を取り巻く環境は年々厳しい状況となっておりますが、この島に住む、安心の医療の提供に向け、

職員一丸となつて取り組みを進めます。

### 【消防事業】

近年は大規模な被害を及ぼす自然災害が立て続けに発生し、多くの尊い人命、貴重な財産が失われています。火災や事故に加え、このような被害を及ぼす自然災害の発生は、引き続き危惧されているところであり、消防が果たすべき役割は益々重要であると考えます。

特に被害が甚大であった平成30年7月の西日本豪雨災害では、被災地支援のため、県内9消防本部で構成した緊急消防救助隊として広島県呉市へ出動し救助活動を行いました。

災害は大規模化・複雑化の傾向にあり、これらの災害等に対応した諸活動や救急業務の高度化が求められるため、平成31年度は無人航空機ドローンの導入を予定しています。

今後も島民の安全・安心の生活を確保すべく、消防団、自主防災組織等の関係機関と連携しながら、訓練や研修を通して消防力の基本となる職員一人ひとりの資質向上を図り、消防力の強化に取り組みます。

また、隠岐島消防署島前分署及び海士出張所の老朽化に伴う庁舎整備については、隠岐4町村等と協議を進めています。



平成31年度

# 隠岐広域連合当初予算の概要

平成31年度の隠岐広域連合一般会計、介護保険事業特別会計、隠岐島前病院事業特別会計、隠岐病院事業特別会計、消防事業特別会計の予算概要をお知らせします。

隠岐広域連合の平成31年度歳出予算総額は、88億8,822万円です。前年度比2,558万円の増額となっており、病院事業費用（施設整備や医療機器購入）の増額が主な要因です。

## 88億8,822万円の使い道

平成31年度隠岐広域連合各会計の歳出予算

### ■一般会計

議会費	239万円	議員報酬、議会運営費等
総務費	4億543万円	人件費、指定管理料等
民生費	647万円	介護保険事業繰出金
衛生費	180万円	救急医療対策事業費
公債費	3,006万円	地方債償還金
予備費	30万円	予備費
合計	4億4,645万円	

### ■隠岐島前病院事業特別会計

医業費用	8億8,995万円	人件費・材料費等
医業外費用	1,664万円	企業債利息等
建設改良費	1億1,277万円	医療機器購入費等
企業債償還金	4,956万円	地方債償還金
投資	301万円	修学資金貸付金
合計	10億7,193万円	

### ■介護保険事業特別会計

総務費	1億1,320万円	人件費、介護認定審査会費等
保険給付費	30億486万円	介護サービス給付費
地域支援事業費	2億349万円	介護予防事業費等
基金積立金	487万円	介護給付費準備基金積立金
諸支出金	104万円	国県返納金、保険料還付金
特別対策事業費	10万円	利用料減免事業費
合計	33億2,756万円	

### ■隠岐病院事業特別会計

医業費用	31億1,402万円	人件費・材料費等
医業外費用	7,813万円	企業債利息等
建設改良費	9,392万円	医療機器購入費等
企業債償還金	9,788万円	地方債償還金
投資	1,840万円	修学資金貸付金
合計	34億235万円	

### ■消防事業特別会計

総務費	6億3,993万円	人件費、機器保守料等
合計	6億3,993万円	

## 病院事業

隠岐病院、隠岐島前病院の二つの病院を合わせた病院事業の歳入総額は42億9,069万円で、入院収益と外来収益を合わせた医業収益が26億4,386万円（61.6%）、構成団体負担金が12億3,059万円（28.7%）となっています。

構成団体負担金の内訳は、島根県が2億287万円、隠岐の島町が7億1,188万円、海士町が2,013万円、西ノ島町が2億8,606万円、知夫村が965万円となっています。

歳出総額は、44億7,428万円で、医師、看護師などの給与費が24億8,980万円（55.7%）、薬・給食材料費等の材料費が、6億2,218万円（13.9%）です。その他の医業費用としては医療機器の点検保守料等の経費が8億9,199万円（19.9%）となっています。また、建設改良費は2億670万円（4.6%）となっており、主なものとして下記の設備等の整備を予定しています。

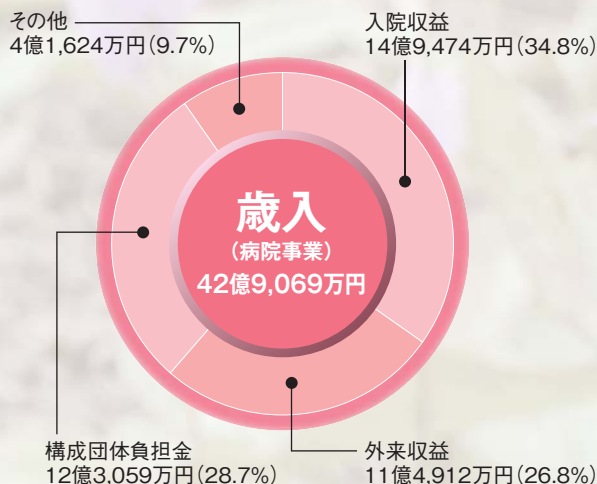
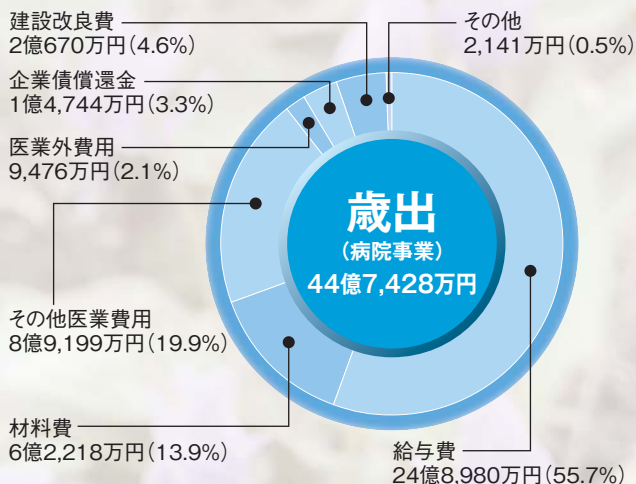
（隠岐病院）

- ・プラズマガス滅菌器
- ・汎用電動式手術台
- ・透析通信システム
- ・細隙灯顕微鏡

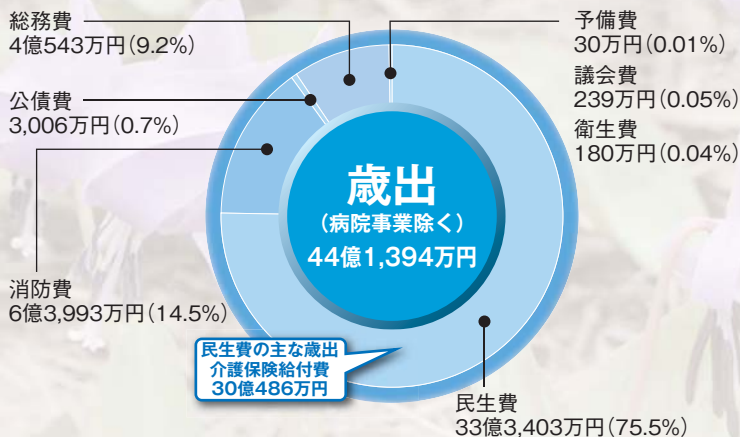
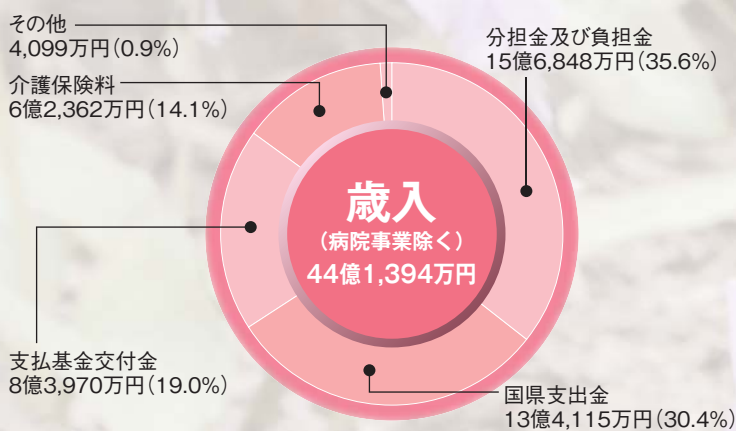
（島前病院）

- ・自家発電システム
- ・人工呼吸器
- ・内視鏡カメラ
- ・鼓膜検査機器

歳入から歳出を差し引くと1億8,359万円の赤字となりますが、現金支出を伴わない支出（減価償却費・資産減耗費・繰延勘定償却等）を除くと収支の均衡している予算となっています。



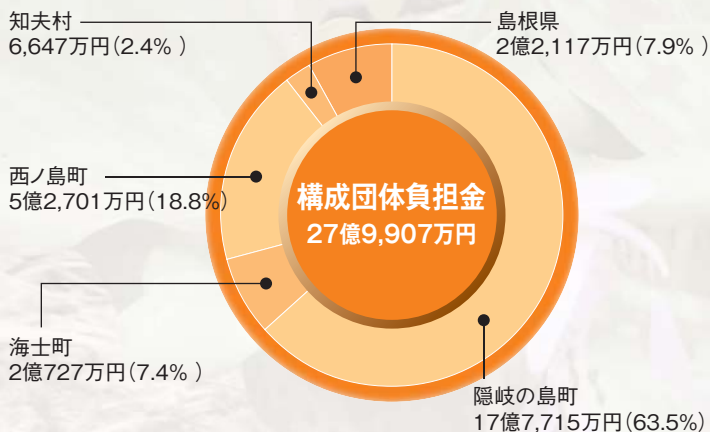
### 病院事業以外の事業



病院事業以外の歳入総額は、44億1,394万円で、その内訳として、①鳥根県及び4町村からの負担金、②介護保険の給付に係る財源となる介護保険料・支払基金交付金・国県支出金、③その他に分けられ、金額の内訳は左図のとおりです。

また、歳出の内訳として、①民生費（介護保険給付費・介護保険課職員人件費・地域支援事業費等）、②公債費（広域連合で仁万の里施設整備の際に借入をしたお金の返済費用）、③総務費（総務課職員及び仁万の里への派遣職員の人件費、超高速船指定管理料等）、④議会費（隠岐広域連合議会の運営費等に係る経費）、⑤衛生費（在宅当番医制に係る委託料）からなり、金額の内訳は左図のとおりです。

### 構成団体負担金



構成団体負担金は、隠岐広域連合の構成団体である鳥根県及び隠岐4町村からの負担金で、27億9,907万円となっています。

これは、事業ごとに人口、対象者数、利用率、交付税算入額等を基に負担割合を定め算定しています。前年度に比べて1,889万円の増額となっていますが、これは、病院事業費用の増が主要要因です。

# 隠岐広域連合行政機構・職員配置を紹介します

広域連合長：池田高世偉（隠岐の島町長）

令和元年5月1日現在

副広域連合長：大江和彦（海士町長） 升谷 健（西ノ島町長） 平木伴佳（知夫村長）  
高宮克彦（隠岐支庁長） 川崎康久（常勤）

事務局		( ) は兼務		
事務局長：野津信吾				
課名	所属長	係名	係長	係員
出納室(議会議務局) ☎08512-6-9150	福島康利 (会計管理者)			高井美雪
総務課 ☎08512-6-9150	(野津信吾)	総務係	西村洋一	田中里沙
		企画財政係	和田哲也	木村靖志 村上 翔
		隠岐町村会 (島根県離島振興協議会)		(高井美雪)
隠岐の島町へ派遣				佐々木朋哉
(福)博愛へ派遣				赤沼 靖 安井 敏 渡辺厚子 野津睦美 赤沼百合子 野津恵子
介護保険課 ☎08512-6-9151	藤野則子	介護保険係	藤野 実	速水裕子 山崎一美 井奥秀敏 浅生 偉 小中 凌

隠岐病院 ☎08512-2-1356				
院長：長谷川明広 名誉院長：小出博己 総括副院長：松尾 進 副院長：有田茂夫 [齋藤英典] 「 」は隠岐の島町からの派遣職員 ( ) は兼務				
部署名	所属長	係名	責任者	係員
医療安全管理室 (感染対策部門含む)	(松尾進)	医療安全管理者	(福本直美)	岡田早兄子
		医療部門	(助永親彦)	
		感染部門	(小田川誠治)	
		医療機器部門	(西岡博志)	
		医薬品部門	(増谷秀樹)	
部署名	所属長	科名	部長	医長
診療部	部長 加藤一朗 副診療部長 宇野吾一 助永親彦	内科	(宇野吾一)	(小田川誠治) 宋本暁承 角 芽美 小川将也 小川敦子 正木 暁
		神経内科		(小出博己)
		腎臓内科	小田川誠治	(小出博己) (加藤一朗) (助永親彦) (内科医師)
		小児科	樋口 強	
		精神神経科	(有田茂夫)	
		外科	(松尾 進)	
		整形外科	青木 陽	田中孝明
		産婦人科	(加藤一朗)	(長谷川明広)
		眼科		田中智章
		耳鼻咽喉科		(島根大学医学部附属病院からパート診療)
		泌尿器科		(島根大学医学部附属病院からパート診療)
		皮膚科		(鳥取大学医学部附属病院からパート診療)
		歯科口腔外科	辰巳博人	倉敷佑人
		救急科	(助永親彦)	(加藤一朗)
麻酔科	(助永親彦)			
リハビリテーション科		(青木 陽) (田中孝明) (小出博己) (長谷川明広) (加藤一朗) (内科医師)		
部署名	所属長	科名	科長	係員 [ ]は副科長
医療技術部	部長 増谷秀樹 次長 齋藤 靖	薬剤科	(増谷秀樹)	木瀬 歩
		放射線技術科	(齋藤 靖)	池田和也 坂田匡弘 磯辺直哉 原田大輝 齋藤優衣
		検査技術科	(齋藤 靖)	[赤田宏行] 藤野利恵 泉 恵 橋本詩乃
		リハビリテーション技術科	(齋藤 靖)	[高村知秀] 中尾栄治 横地 悠 奥地幹奈 小川 勝 八原未来 山根由依
		臨床工学科	(増谷秀樹)	[西岡博志] 松田章利 吾郷啓介
		栄養管理科	(増谷秀樹)	高梨史菜
		歯科技術科	(増谷秀樹)	村上春代

部署名	所属長	科名	看護師長	係員 [ ]は副看護師長		
看護部	部長 崎 美樹 次長 河田真紀 福本直美	外来看護科	横地明子	[八幡弥生] [松林かおる] 杉原幸子 藤田泰代 三橋志穂 (福浦祐子) 福浦広未 深瀬芳枝		
		手術室・透析室看護科	(河田真紀)	[村上 聡] 櫻井鈴代 岩水 潤 樋口亜沙美 [青砥優子] 坂口恵子 山根智絵 小村恭乃		
		三階東病棟看護科	藤谷花美	[野津直美] [村上由美子] 山西優子 齋賀京子 恵 智美 西田悦規 永海陽子 吉田智英 中上久美子 深瀬静枝 山本美枝子		
		三階西病棟看護科 (助産科含む)	高村浩美	[石田絵美] [藤田美紀] 田中啓子 古川みね 中尾あすさ 加藤真紀子 山根千穂 小野奈留美 若葉志保 徳山由美子 松本和美 宇野えり 山根 妙 石井百理 平田弘美 磯見春佳 坂根清美 村上真琴 塩尾亜寿紗 磯辺未来 増原 葵 濱田奈々子 木田麻里恵		
				<b>【助産科】</b> (高村浩美) (田中啓子) (古川みね) (加藤真紀子) (中尾あすさ) (山根千穂) (小野奈留美) (若葉志保)		
				[田尻友子] [村上智恵子] 邊田祥子 澤尾直美 堤 典子 河瀬幸子 黒崎あい 黒崎典子 石橋清美 松林 優 岡島かおり 開発美紀 村上雅美 平田めぐみ 池田麻衣		
				西 智美 原いずみ 早川由佳 重栖奈々重 小村繭子 池田未希 佐々木沙織 石川文香 牧野七海 大庭史紘 小村 奨 山口千恵子 濱田雄馬 野津里穂 田中めぐみ 萬 百香		
		四階病棟看護科	野津美和			
		<b>事務部</b> 事務部長：「 (齋藤英典) 」 「 」は隠岐の島町からの派遣職員 ( )は兼務				
		部署名	所属長	係名	係長	係員
総務課 ☎08512-3-1811	齋賀光成	庶務係	宇野俊洋	長谷川喜映子 杉浦翔子 (上野俊之) (岡田早兄子)		
		業務係	(齋賀光成)	大西千鶴 横地正一郎 野津雅人 藤野輝男		
		経営係	原 幸一	野津 晶		
医事課 ☎08512-3-1622	山崎 章	医事係	中村 一	石田辰也 川畑富美子 村上英子 門脇淳平		
<b>地域連携部</b> ( )は兼務						
部署名	所属長	係名	室長補佐	係員		
地域連携室 ☎08512-3-1770	(加藤一朗)	地域連携係	山下幸代	松浦豊多 (横地明子) 福浦祐子 米澤英里子 齋藤拓也 金阪幸之		
<b>島の医療人育成センター</b> ( )は兼務						
部署名	所属長	係名	責任者	係員		
島の医療人 育成センター	センター長 (加藤一朗) 副センター長 (助永親彦) (崎 美樹) (増谷秀樹)	島の医療人育成センター	上野俊之			

隠岐島前病院 ☎08514-7-8211

院長：白石吉彦 ( )は兼務 ●嘱託・契約 ※離島看護研修プログラム 「 」は海士町からの派遣職員

部署名	所属長	科名	科長	係員
医療安全管理室 (感染対策部門含む)	(白石吉彦)	医療安全管理者	(濱田拓史)	
		院内感染管理者	(川瀬あんず)	
診療部	(白石吉彦)	内科	(白石吉彦)	黒谷一志 福田聡司 福田瑤子 (濱崎雅文) 迫 正明 迫友紀子 (黒谷一志) (福田聡司)
		外科		(黒谷一志) (福田聡司) (濱崎雅文)
		小児科		島根大学医学部附属病院から非常勤医師
		耳鼻咽喉科		松江赤十字病院と島根大学医学部附属病院から非常勤医師
		整形外科		隠岐病院と島根大学医学部附属病院から非常勤医師
		産婦人科		非常勤医師
		精神科		非常勤医師
		眼科		鳥取大学医学部附属病院から非常勤医師
	派遣	知夫診療所		濱崎雅文 (迫友紀子)
		浦郷診療所		福田聡司 (迫 正明)

( ) は兼務 ●嘱託・契約 ※離島看護研修プログラム 「 」 は海士町からの派遣職員

部署名	所属長	科名	係員	
医療技術部	(白石吉彦)	薬剤科	嶋崎裕子	
		検査科	白野明子	
		リハビリテーション技術科	濱田拓史 向原翔子 藤原 翼 「中川貴史」 門脇正朋 間 康一 畑中聡志	
		栄養科	杉山晴美 高木絢加 志茂結花 ●宇野絹代 ●木谷美智子 ●藤井礼子	
		放射線技術科	非常勤技師	
部署名	所属長	科名	師長	係員
看護部	家中ふみ代	一般病棟看護科	三角琴江	山本美帆 赤澤あかね 奥本良美 山口庸子 坂田尚子 多賀 瞳 井上周子 小島二美代 北条 綾 滝下雅美 門野千尋 島本由希子 ●佐藤江里子 ●中村美恵子 ●高橋ルミコ ※今井麻菜美
				療養病棟看護科 (家中ふみ代)
		外来看護科 (家中ふみ代)	島本小百合 上原 彩 川瀬あんず 赤澤啓吾 岡村智美 徳若聡子 常盤比呂子 板橋奈津子 佐藤優子 平木マリ子 ●梶谷千鶴 ※柴田織花	
		訪問看護科 (家中ふみ代)	(川瀬あんず) (赤澤啓吾) (岡村智美) (常盤比呂子)	
<b>事務部</b> 事務部長：「笠置弘樹」 「 」 は西ノ島町からの派遣職員 ( ) は兼務 ●嘱託・契約				
部署名	所属長	係名	係長	係員
総務課	(笠置弘樹)	総務係	小島泰子	山根久美子 倉上朱莉 ●淀川義浩
		財務係	中尾清司	
医事課	(笠置弘樹)	医事係	「安藤博晃」	永瀬 進 ●澤谷真由美 ●木村祐子 ●三島明香 ●萬田朋世 ●三島由佳 ●小前幸代 ●竹山ひとみ ●伊藤佳代子 ●岩崎美夏

【隠岐島前病院に勤務する職員は、島前町村組合からの派遣職員】

消防本部・隠岐島消防署

( ) は兼務

課名・部署名	所属長	係名	係長・副所長	係員
消防本部				
消 防 長：久永吉人 消防次長：藤田正峯				
総務課 ☎08512-3-0119	田中井和幸	経理係	(田中井和幸)	吉塚勇氣
		庶務係	重栖八重美	
島根県防災航空隊派遣 初任教育				佐々木啓介 大野 達 松本飛来
予防課 ☎08512-2-2307	課長 河内 洋 課長補佐 井澤 聡	予防係	齊藤義幸	中上弘樹
		危険物係	(井澤 聡)	矢谷弘明
警防課 ☎08512-2-2300	安部 力	警防係	田中 勤	
		救急救助係	渡邊秀幸	
通信指令室	井上定彦	通信指令室係		
隠岐島消防署				
本署 ☎08512-3-0119	黒澤 聡	第一係	永海克徳	石井 慎 是津秀樹 角崎将仁 戸田正郎 的地大輔 吉田亮一 高宮 涉 八原 涼 升田大貴 松田寛人 藤野史弥
				第二係
島前分署 ☎08514-6-1119	安藤宏伸	第一係	間瀬純次	福浦圭一 三角和成 安部一徳 石橋一輝
		第二係	澤田敏夫	田黒大輔 吉田航介 堀川遼太郎 黒澤竜斗
海士出張所 ☎08514-2-1119	佐々木肇	第一係	柳谷幸雄	八幡 航 坂本雄太 石川大志
		第二係	西藤慎吾	村田竜也 山根啓徳 笠置健太郎
知夫出張所 ☎08514-8-2119	増本 勝	第一係	堂下友見	恩田祐也 伊藤浩志
		第二係	梶谷軍次	佐竹真人 竹本一生

# 新規採用職員をご紹介します



おがわ まさや  
小川 将也  
隠岐病院 内科医師



おがわ あつこ  
小川 敦子  
隠岐病院 内科医師



そうもと あきつぐ  
宗本 暁承  
隠岐病院 内科医師



まさき さとし  
正木 暁  
隠岐病院 内科医師



たなか たかあき  
田中 孝明  
隠岐病院 整形外科医師



さいとう たくや  
齋藤 拓也  
隠岐病院 社会福祉士



わかば しほ  
若葉 志保  
隠岐病院 助産師



むらかみ まさみ  
村上 雅美  
隠岐病院 看護師



かいほつ みき  
開発 美紀  
隠岐病院 看護師



しおほ あずさ  
塩尾 亜寿紗  
隠岐病院 看護師



へた しょうこ  
邊田 祥子  
隠岐病院 保健師



おの なるみ  
小野 奈留美  
隠岐病院 助産師



よろず ももか  
萬 百香  
隠岐病院 看護師



さこ まさあき  
迫 正明  
隠岐島前病院 医師



さこ ゆきこ  
迫 友紀子  
隠岐島前病院 医師



たかぎ あやか  
高木 絢加  
隠岐島前病院 管理栄養士



おの いたる  
大野 達  
消防本部 消防士



まつもと ひらい  
松本 飛来  
消防本部 消防士

## 平成31年第1回隠岐広域連合議会 定例会

2月18日に隠岐広域連合議場において開催され、次の議案を上程し、原案のとおり全会一致で可決されました。

### 同意案件（2件）

#### 隠岐広域連合副広域連合長の選任同意について

新西ノ島町長に就任された「升谷 健」氏が副広域連合長に選任されました。

#### 隠岐広域連合監査委員（識見者）の選任同意について

「池田 賢一」氏が監査委員に選任されました。

### 条例の一部改正（1件）

#### 隠岐広域連合介護給付費準備基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例

制度改正に伴う地域支援事業の創設や給付費等の変動による財政の悪化が生じた場合を鑑みて、基金を有効に活用する必要があるため関係条文について所要の改正を行いました。

### 平成30年度2月補正予算

	補正前予算額	補正額	補正後予算額
一般会計	4億8,657万円	155万円	4億8,812万円
介護保険事業特別会計	34億6,850万円	△ 3,133万円	34億3,717万円
隠岐島前病院事業特別会計	9億8,612万円	△ 1,704万円	9億6,908万円
隠岐病院事業特別会計	33億2,356万円	2億3,881万円	35億6,237万円
消防事業特別会計	6億7,400万円	△ 1,510万円	6億5,890万円

○主な内容は、以下のとおりです。

#### 一般会計

決算見込に伴う不用額の減額及び仁万の里指定管理料精算金の償還に伴う増額補正。

#### 介護保険事業特別会計

決算見込に伴う不用額（主にシステム関連委託料及び保険給付費）の減額補正。

#### 隠岐島前病院事業特別会計

決算見込に伴う不用額の減額及び平成29年度決算による特別損失の増額補正。

#### 隠岐病院事業特別会計

給与費、材料費及び平成29年度決算による特別損失の増額補正。

#### 消防事業特別会計

決算見込に伴う不用額（高規格救急車両寄贈による事業費）の減額補正。

### 平成31年度当初予算

	本年度予算額	前年度予算額	比較
一般会計	4億4,645万円	5億2,039万円	△ 7,394万円
介護保険事業特別会計	33億2,756万円	33億7,563万円	△ 4,807万円
隠岐島前病院事業特別会計	10億7,193万円	9億8,612万円	8,581万円
隠岐病院事業特別会計	34億235万円	33億1,485万円	8,750万円
消防事業特別会計	6億3,993万円	6億6,565万円	△ 2,572万円

○主な内容は、3P「平成31年度隠岐広域連合予算の概要」に記載しています。

### ○村上三三郎議員 「介護利用者の負担増について」

厚生労働省の委託調査では2割負担の利用者で介護サービスを減らした人の35%が「介護に係る支出が重い」ことを上げており、次の点について質問する。

- ① 隠岐広域連合ではこの度の介護保険利用者の負担増による影響についてどのように把握しているか。
- ② 隠岐広域連合として利用者の負担増に対してどのような対策を考えているか。

### ○池田広域連合長

- ① 隠岐圏域の要介護認定者のうち、平成30年12月末時点で2割負担の方が53名（3%）、3割負担の方が16名（0.9%）という状況であり、全国と比較しても3分の1程度になっており、介護サービスを減らしたという方はいないと認識しており、極めて影響は少ないと考えている。
- ② 保険者として対策を講じることは困難だと考えている。介護保険制度においては、高額介護サービス費など利用者負担に上限額を設けた制度があり、3割負担となっても負担増となる方はほとんどいない状況となっている。

### ○西尾幸太郎議員 「Net119 緊急通報システムについて」

Net119 緊急通報システムは音声による119番通報が困難な聴覚・言語障がいのある方々が消防への通報を円滑に行うもので、平成32年度までに全国すべての消防本部に導入することが目標とされている。このシステムの運用に係る経費は地方交付税措置されることもあり、バリアフリーの観点からも早急に導入すべきと考えており、次の点について質問する。

- ① Net119 緊急通報システムについて現在どのように検討しているか。
- ② 隠岐圏域にこのようなシステムが必要とされる住民がどの程度いるのか。また、聴覚・言語障がいのある方の受入を考えたときに早急に整備すべきと考えるが、広域連合長の考えは。

### ○池田広域連合長

- ① 現在、聴覚や言語機能に障がいのある方については、FAX、電子メール、SNSなどの通報手段があるが、全国の消防本部の大半がFAX通報を採用しており、隠岐広域連合消防本部においても平成27年5月からFAXによる運用を行っている。Net119 緊急通報システムの導入数については、平成30年6月末現在において、全国728消防本部の内、142本部（約20%）の導入に留まっており、県内で導入している消防本部は無く、浜田市のみが平成32年度末の導入を予定している。
- ② Net119 緊急通報システムを必要とされている住民について、聴覚障がい手帳の取得者数は隠岐の島町81名、西ノ島町36名、海士町11名、知夫村6名で計134名、また言語障がい手帳の取得者は隠岐の島町16名、他町村は0名となっている。国の財政支援が準備されているものの、自主財源も必要であることや複数の消防本部が共同で導入することができることから、島根県消防長会議の意見交換においても慎重な議論となっており、消防通信連絡協議会との意見交換や県下消防本部の動向及び連携を踏まえ、導入に向けて検討を進めていく。

### ○安部大助議員 「フェリーおきの運用について」、「旧隠岐空港管制塔の活用について」

- ① 隠岐広域連合が「フェリーおき」の所有者として、多様なニーズにどう対応すべきか、また「フェリーおき」の設置目的を達成するためにどういった施策が必要なのかを示した運用計画を策定すべきと考えるが、広域連合長の考えは。
- ② 第3次隠岐広域連合行財政改革大綱では遊休資産活用について旧隠岐空港管制塔を含めた3つの施設について記載されているが、検討委員会が平成29年に設置されたのみで2年経っても方針が示されていない。旧隠岐空港管制塔に特化した行政、民間で構成する検討委員会を設置し、早急に協議をすべきと考えるが、広域連合長の考えは。

### ○池田広域連合長

- ① 「フェリーおき」については、隠岐広域連合が「指定管理に係る基本方針」、「管理業務基準書」等で運航、維持管理に関する仕様を定め、この仕様を基に隠岐汽船（株）が事業計画書を作成し、この事業計画書に沿って運航や維持管理が行われることとなっている。利用者の満足度を向上させていくことは重要と考えており、昨年設置した隠岐航路振興協議会などで十分協議をして結果を出していきたい。
- ② 隠岐広域連合事業による活用方法については、立地条件の不利性や、建物の構造上大きな改修が難しいことから提案できかねるが、隠岐の島町内の文化関係の団体から活用したいとの申し出があり、団体と隠岐広域連合、隠岐の島町も含めて活用する方向で検討している。現在のところ民間を入れた検討委員会の設置は考えていない。

## ..... 隠岐病院 新院長就任のご挨拶 .....



長谷川 明広 院長

平成31年4月1日付けで院長を拝命いたしました。院長就任にあたりご挨拶申し上げます。

私は、平成23年に副院長として着任しましたが、その間、医療を取り巻く環境は大きく様変わりしており、病院運営の厳しさを実感して来ました。この度、院長という重責を拝命したことに身の引き締まる思いでいます。

さて、当院は隠岐諸島の中、島後の隠岐の島町にある島後唯一の病院です。平成24年5月1日に新病院が開院し、標榜診療科は計16科、常勤医師数は歯科医師2名を含め19名で診療体制を組んでいます。1日外来患者数は約460名で病床数115床に比して非常に多い状況にあります。

日本の高齢化率は2025年に最も高くなり、その10年後に生じる介護問題が危惧されているところですが、隠岐の島町では5年早く2020年に高齢化率が最高となります。つまり、日本の他の地域に先駆けて対応していかなければならない地域です。

当院の役割は、「地域包括ケアシステム」の中核病院としての医療部分であり、島民の皆様の「医療と健康増進」を担い、「QOL（クオリティ オブ ライフ）の向上」を目指しています。そして、患者様のご意向を尊重し、当院で完結できる医療を提供しています、しかし、高度医療や緊急の処置や治療が必要な疾患については、島外の高次医療機関に紹介または当院ヘリポートからの緊急搬送を基本とし、一方では保健、医療（診療所）、介護、福祉とも連携しながら、島民の皆様から信頼され必要とされる地域の中核病院を目指しています。

現在の課題は、医師、看護師、薬剤師をはじめとする医療専門職の継続的確保が困難なことであり、現状は、大学病院、島根県の基幹病院とも連携してキャリアアップが可能な病院を目指し、島の地域医療に熱い気持ちを持ったスタッフを求めています。また、島の医療人育成センターでは、将来島で働く医療人を育てるために、研修医、医学部学生、看護学生等の実習受け入れ、中高生の病院見学等を積極的に進めております。

院長として、「隠岐圏域の中長期的な地域医療構想」を見据えながら、「柔軟性と謙虚な気持ち」を持って様々な課題に対して対応し、当院の理念である「この島に住む、安心の医療」に努めて参りますので、今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

## 日本損害保険協会様より高規格救急自動車の寄贈を受けました

平成31年3月4日に一般社団法人日本損害保険協会様より、隠岐広域連合に対して、高度な医療機器を備えた救急自動車が寄贈されました。

受納式では、島根損保会の小泉会長から「地域の救急救命の充実、島民の安全・安心に役立てて欲しい」として池田広域連合長へ目録を贈呈いただき、「島民の健康に貢献できるように、救急の任務遂行に当たります」と謝辞を述べました。

寄贈いただいた高規格救急自動車は、救急救命の充実、安全・安心の暮らしを確保するために活用させていただきます。



小泉会長（写真左）からレプリカキーの贈呈を受ける池田広域連合長